夕刊 磐城新聞
五月十九日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇一六五五八番

天氣豫報
小名濱測候所觀測
今晩 南東の風曇
明日 東の風曇時々雨

兎の耳と禮儀作法（三）

佐波古直胤

昔から畫龍點睛といふ言葉があります、龍が畫いて睛を入れなければ龍は生きてまゐりません。野兎が畫いて耳の黑點を落しては、本當の白兎にはなりませんこの大事な黑點を忘れたのでは惡深い、用慮深い神樣にその粗忽さを笑はれはせんでせうか。

雪深い白山や、新潟縣地ん、又福島縣では會津地方の兎は白色であります、同縣でも私の居る地方、白川郡方部の兎は、鼠色樺色を混せ、樣は灰色でありまして而も一年を通じて此の着物の着通しであります、而も此の灰色の着物が又となく保護色になつて居ります。新潟の白兎を此の地方の山野に放せば直ちに發見されてしまふで、同じい樣に當地方の兎は雪深い北陸地方に行つたのでは、更にカムフラージュは利きません。此れを逆に云つて兎の毛の色合を見て雪の多い寡いを言ひ當てる事が出來る、とかう云つた事にならうかと考へられます。當地方の山野を跋渉して一間先に兎を發見して周章てゝ射止める事がまゝあるその位、巧な保護色を身につけて居ります。それで熟練した獵師は、毛並を見て日向に住む兎と北向に住む兎を見分けますし、又黑目勝ちで軟かき糞は北向、黃色勝ちで硬き糞は日向といつた具合に、糞の色合を見て彼等の所在さへつきとめてしまひます。

然らば飼兎は如何一あうか、溫室育ちの彼等には現在お互に連絡をとる必要い毛並ありません。精々與へられたどころの食物を選り分けて藥草を食べない樣に注意を拂ひ、嗅覺と濕…て、やたらに鼻の先を動かしてればよいといつた事で神樣はもはや彼には必要のない黑點を奪はれてしまはつたのだとも云へませう、又ダーウィンの進化論を逆に說いて堪能する事も出來ませう。

以上は、も早や一昔前になるのですが、金山御神德沿き八千九百三十尺白山の奥宮に奉仕中、雲や霧に風や、自然を友と致しまして、神氣自ら澄み、頂上に立つた私は、神理と申しませうか、造化の妙と申しませうか、餘りにも嚴肅なるところの此の事實を前にして、身戰き、魂慄えて深く頭をたれたのでありました。

東郊趁晴

珠雲 小野豁平

行追鶯語到郊回
桃綻帶嬌梅臘馨
暖日和風隨處好
柔莖十里草萋々

けふの献立

平保健所榮養指導員 成田君子

筍の五目煮

筍	三〇瓦	八匁
大豆	二二	約四十五つぶ
豚肉小間切	二二	約五、九匁
昆布	適宜	
漬物	少々	
計	蛋白質一二、五	熱量一九四

〔調理法〕筍は生のまゝ細く切り、前晩より水につけた大豆を浸け汁と共に火にかけ、大豆が軟かになりかけた時豚肉小間切と昆布を入れ更に煮て大豆が軟かになつた時、砂糖醤油で味をつける

5月20日

△コロンブス逝く（一、五〇六）△獨墺三國同盟（一八八二）△跳足禁止令發布（明治三四）△連雲港占領（昭和一三）

つりの歌

○
すみぞめの夕山ざくら影ひたす、川瀬の波に小鮎跳るも
乾政彥

講談 呼よ渦紋（十）

(104)
久保莊多郎
香川三十代畫

太田町の要慶部屋にある遊び人、金さんッてこの男もその昔は二本腰にぶち込んでゐたんだ。男ましいものたつたせ」

金四郎は、顔見合せてゐる二人の邏卒を前にして、齒切よくいひのける。

「負けたんだ。何も彼にも……繪の中のことア何も彼も負けたんだ。その負けはじめは、伏見爲羽のあの戰たつたなア。ドン〜鐵砲をブッ放されて、逃げた。意氣地がねえが逃げたんだそれから此方、ずッと負けづめだ。旦那方、わかりすんまいしには、旦那みたのお情を受けられわンでわけが……」

「……」

「旦那がたには勝戰さだ。どこまでもわッしたちを、追ひ結めた人なんだ。わッしとは敵味方の人なんだ」

いつの間にか、知らず識らずのうちに、金四郎は熱して來てゐるさう飲まなかつたと思ふ酒も、いつもほどの度でないにしても、かなり飲んでゐたのだ。その醉ひが一時に出て來たと見える。

醉ひしれた時の、我にもなく猪のやうに前へ動き出して行く粗暴な力がこの時も出て來た。惡いことに、邏卒を前に置いてゐるそれだけに、日頃のうつぷんが晴らしたくなつたのだ。尊攘との約束も忘れてしまつた。たゞあるものは、幕府を倒した男たちを憎む火のやうな怒りだけだ。

「さうでせう。旦那がたは長州さんでせう？長州さんといやあわッしにとつて于家の仇。かう墜ちて、どん底を泳いでゐたつて、そんな人たちからのお情けは受けられねえぢやござんせんか。ヘッヘッへ」と、こゝで不敵に笑つて

「と、こゝまで毒舌を吐いた以上もう逃げはしませんぜ。縛つてもらつたつていゝんだ。わッしは、そいつ……」

「……」

默つて聽いてゐた難波愼吾の眉が、グッとあがつた

それを傍らの惣介が目で抑へて

「君——君」

と金四郎のあとを制すやうに、また腕を掴む。

「行かう。君と、ゆつくり話をしよう」

「まだですかい。ペッ、馬鹿々々しい。どこまでわッしを連れて行くんです」

「とに角……惡いやうにはしない君の今の述懐に對して、こちらも話してみたいことがあるのだ」

「喧嘩か？」

舌舐めずりをして笑つてゐる。

「よし」

と、決心したやうに、自分から氣前よく腰をあげた

惣介は、愼吾に、

「濟まないが、しばらく……」

「いゝとも」

愼吾に、惣介の心持がよくわかつてゐたから、金四郎には何もいはず、輕く頷いた。

「さつき、妹さんが辨當を届けてくれた。どうする？」

「歸つてから……」

惣介は、帽子もかぶらないで、金四郎と肩を並べて出張所を出たすぐ傍に、小さな煮魚屋がある惣介は金四郎を、そこへ連れ込んだ

すぐと運こばれた酒を、惣介のつぐに任かせて金四郎、グン〜飲んでゐたが

「旦那。話つてなんだらう？そいつを聞かうぢやありませんか」

「君は、手をさしのべてくれる者がないから、それをいふことに、墜ちて行くんぢやないのか？わしには、さう思へる」

「一体、お前さんは……」

と、はじめて、忘れてゐたことを思ひ出し、

「なんて仰有るんで？さうだ。お名前」

「深見惣介」

「エッ」

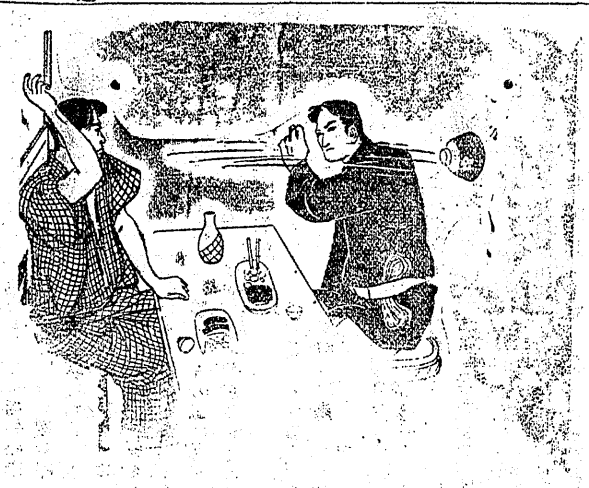
手の盃を取り落すほどにギョッとしてゐたが、その目は異樣にかゞやいた。

「馬鹿野郎ッ」と、見違える程の聲で怒鳴ると、金四郎の手に掴まれた盃洗が惣介の肩に飛んだ。

「何をする」

「恥知らず。手前、徳川の祿を食んでゐた身で、新政府の飯を食ふとは……」

口ではもどかしく、手があたりにあるものを、手當り次第に飛ばすのであつた



開院
齒科全般
口腔外科
齒列矯正
平郵便局ウラ通り
南町四十五
東京齒科醫學士 鈴木與三郎
鈴木齒科醫院

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
（美）マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一二

中等學校 正服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服 新入荷
既製品並ニ注文
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板 買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
營業種目
建築木材一式
銘木ベニヤ板
秋田產杉四分板
建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを是ひ一度お試し乞ふ
◎小店員募集 年齡十五歲ヨリ廿歲迄

故障の起らぬ
原口のラヂオ
擧つて國防…揃つてラヂオ
ラヂオは是非——
專門店……へ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

第一線の
慰問品ニハ
見不知羊羹と
潮の華
平市五丁目
泉屋菓子店
電話六六八

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多產種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內郷村境（平市外）
出張所 本驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合
藥品藥餐劑 飼料各種
◇北里研究所製 ジステンバー豫防液
◇東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴィベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイッシミール 榮養魚粉
病理研究、診療
榮養劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任 獸醫師 技師

警防精神の皆樣
◎警防團旗
◎警防分團旗
制定さる！
御下命は……弊店へ
今回內務省警保局に於て決定したる制定警防團旗は時局柄標準價格決定致し滅私奉公良品廉價申候間御相談被下度候
◎圖案色合見本有ます
京都西陣 山本旗工場代理店
平市田町銀座通
大塚運動具店
電話七十七番
各種運動具豐富に揃つて居ます

磐城の御みやげ品
名物 靈峰（みやま）羊かん（名產柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種 一本十錢
製造發賣元 小川鄕驛前 平屋賣店

女店員募集
資格・通勤・十七才ヨリ二十五才マデ
月給制度・申込五月二十日マデ……
大黑屋洋品店

小店員募集
資格・住込・十三才ヨリ十八才マデ
獨立資金積立制度……
申込 五月二十日マデ……
大黑屋洋品店

中風・血壓昂進・動脈硬化・高血壓・神經衰弱に
プロナウン
◎高血壓は生命を脅威す
平市田町
阿部藥舖

鑑定項目
名前のみで一代の運命……何んでもわかる
体力・ 肉体（健康、不健康、相貌）疾病（病根病勢、病名）に關する一切
活動・ 職業（適業、不適業）天運（天運、成功、不成功、炎厄）に關する一切
血緣・ 家族運（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無 男女緣（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町 三六

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

事變の影響案外微弱
所得營收の納税人員增加僅か九分
本年度實績見透しつく

既報。一昨十七日夜を以て調査會を終了した平税務署所轄内の今年度第三種所得並に營收税に就き差當り納税人員が判明した。之によると兩税併納を一人として計算した實人員が三千五百二十二人で前年の同上三千二百三十一人に對し約九分の增加に過ぎない。右は昨年度に於て免税點千圓内外の納税者中申告を怠つた爲に老幼癈疾其他控除の恩典に漏れた結果課税された少額納税者が本年は當人の自覺及び當局の督勵によつて進んで申告し控除を受けて納税義務を免れたものが少くなかつた事が其の一因で所得税に於ては木材價格の昂騰から伐採販賣した山林所得の增加、收益税に在つては統制關係の賣上げ減等多少の波紋はあつたもの〻思つた程の異動無く果して人員增加の率を以て全面的に膨脹を示すかどうか詳かでない。因に前十三年度の實績は次の如くであつた
所得金額三百六十六萬千四百圓この税額十七萬九千五百圓、營業收益額百五十七萬千百圓、この税額三萬五千九百圓

礦産税は激增
値上りの時潮が反映

前記所得、營收兩税がさしたる增減が無さそうなるに反し礦産税は時局の波に乘つて急激なる增加を示してゐる
昨十三年度分の課税の基本たる十二年中の出炭量二百四十六萬六千二百噸に對し昨年の出炭高（十四年度分課税）は二百五十八萬二千八百噸で僅か十一萬六千六百噸の增加ではあるが、その價格の千分の六を以てする税金は相場が急激な上昇を見せた結果前年度税額十萬八千圓から一躍十七萬三千圓に激增した
併し明年度の税金は之れが基本たる本年の出炭高が既報の人飢饉から頃來頓に赤字續きとなつてゐるので果して如何なる結果を齎すか今の處逆睹すべからざるものがある

驛夫から運輸事務所長
平にゆかりの植麻晴吉氏
朗快な出世譚

數年前平驛に卓鬪風發の痛快な驛長が居た。身は多數從業員の上班に在り乍ら當り捲き起つた鐵道員の待遇改善問題などには挺身第一線に起つて愛すべき下僚の爲に渾身の奮鬪を續けて其の情熱を壯とされた、麻植晴吉氏その人であるが、今度異數にも仙鐵局福島運輸事務所長に榮轉し、曾て氏の脊蔭を受けた平驛關係の人々をして少からず朗快ならしめて居る。
氏は茨城縣出身本年五十一歳、明治三十七年十二月水戸驛夫を振出しに同驛助手、水戸運輸事務所磯原驛貨物係などを經て大正六年三月水戸驛助役となつた、その間大正五年中央教習所乘務科を卒業しその後平驛助役を經て大正九年十二月茂木驛長、同十二年六月友部驛長、同十三年十一月下館驛長、昭和二年三月高萩驛長、同五年六月平驛長、同八年三月水戸驛長を歷任し同九年四月鐵道局副參事、十二年十二月田端驛長となつて現在に至つてゐる
驛夫から運輸事務所長とは氏また立志傳中の人と云ふべきである

監視訓練愈よ高調
交通整理班も活躍
けふ第二日に入る

東部防衛司令部管區最初の專門防空訓練は昨十八日午前六時から開始、丸三日間の訓練を續けて二十一日六時で終る、今回の演習は既報の如く防空監視哨と警防團交通整理班が主で一般のものは敵機が襲來したとき自動車の運轉をやめ、監視哨員より早く敵機を發見したものは最寄の警察等へ通報するだけ、燈火管制こそないが假裝敵機等も飛ぶ筈で從來以上の緊迫を示してゐる

野崎市會議長出發
鮮滿支視察旅行へ

市會議長縣議野崎滿藏氏は京城に於て開催さる〻全國交通業大會に出席の序を以て鮮滿支各地を視察すべく今十九日午前九時發で驛頭多數の見送りを受け出發、向勿來町青天目信治郎氏も野崎氏と一緒に向つた

青年報國運動案成る

君島知事提唱の『青年報國運動』に基き市聯合青年團では二十八日第一校に總會を開き團則改正、新役員の陣容を整へた上市内三十四の各團陣容をも一新する、新組織は修養、産業拓植、体育訓練、社會、文藝の五部門より從來の選舉制を廢して團長は知事が任免し團長指名によつて團員以外からも有用の材をあつめ『青春一体』となつて報國運動に邁進する

市長さん始球
平商ネット開き

校舍新築と同時に固定ネットを移轉した平商では明二十日午後二時からネット開きを行ひ、市長青沼さんの鮮かな？始球を服部校長がキャッチ磐中との第五回戰を試みる

將棋大會
あす互樂會主催

互樂會主催の將棋大會は明二十日午前九時から市内五丁目吉田屋に於て開催一般多數の參加を歡迎すると

疊叩きは廢する事
非衛生の上に耐久力減殺
大掃除に就て某有志提唱

晴曇定め無き天候に氣を揉ませられ乍ら、今年の春季清潔法も無事に濟んだ。銃後の保健衞生强調から一段徹底的に行はれ本町通りの大掃除當日の如きは疊を叩くひどい埃が濛々として殆ど通行もならぬ程の物凄い光景を見せたが、從來叩きつくす事を以て良いとされたこの疊掃除に就き、其れがさして效果が少い許りか疊を傷めて壽命を短縮する事が夥しい＝と云ふ話が此程商賣人の疊屋さんから出た。とこが棄てある以上、新品でも叩けば幾らでも埃が出る。表側さへ綺麗に拭いて置けば埃はそう床の中心迄浸み込むもので無し、これは裏返しに日光に曝せて充分である。無闇に叩き散らすと綴糸は切れて、とこが軟くなり、持ちに行つて遙かに損なことになる。耐久力が增す一方、街ぢうを埃の霞、罪の衛生上から云つて眞に一石二鳥の疊叩き廢止は是非實行し度いと早くも一部に贊成者が現れ、其の筋の指導が望まれて居る

あと少しで金剛石婚
偕老同穴玆に七十年
芽出度い三島家老夫妻

偕老同穴、五十年の金婚式が既に人生のお芽出度い限りとされて居るのに之れはまた今後五年で七十五年の金剛石婚式を擧げやうと意氣込んで居る今様高砂の翁媼話。三島家と云へば凡そ平の花柳界を口にする程の人で誰知らぬ無き越路の美人系を集めるのを特色とする家だが、主人の三浦與五郎翁は今年八十六歳、妻女よみ媼は一ツ劣りの八十五歳、共に恩寵の信仰生活に今尚矍鑠として壯者を凌ぐ概を見せて居るが、翁が會津の山越えて郷里越後の三島から本縣へ入つたのが紅顏十六歳の時、間も無く當時二八に幾したばかりのうら羞づかしい今のよみさんと結婚して夫唱隨婦玆に五十年其間苦樂を共にして拮据經營今日の基礎を築き上げたものであると云ふ。先年來第一線に活躍して居る長孫富美夫君が聖戰の一員たる目的を遂行する迄はと世間から老の張り切りを頼もしがられてゐる

新版 中年女の一生
惡ブローカーに欺され
活花師匠から苦界へ

數日前から平署で調べてゐた詐欺事件——小名濱町上町料理業福新方酌婦北海道生れ石田フジ（四二）は昨年十一月末知人の東京市小石川區古川町喫茶店渡邊レイ子方が手不足なので手傳つてゐるうち大鑛山師の如く裝ふて出入してゐた市内澁谷區幡ケ谷代々幡詐欺前科三犯鑛山ブローカー荒木民藏（三〇）に欺されて同棲、揚句の果に前記料理屋へ前借二百五十圓で賣り飛ばされ荒木は更に知人の東京荒川區尾久町四の二〇七九春日館アパート止宿自稱旭木炭工業會社外交部長大竹千代藏（四〇）と共謀、フジを他へ賣り飛ばす魂膽で小名濱へ乘り込んだところ遂にバレたもの
檢擧された兩名は今月十三日共謀の上東京市本郷區駒込神明町女鑛山師秋山操方を訪れ大森に有望な硫化鑛數ケ所を見つけたが費用がないので出願出來ないでゐるから讓渡すると巧みに手金五十圓を騙取した余罪自供、毒牙にかゝつたフジは北海道某女學校を出て上京、淺草で裁縫や華道の教授をしてゐたインテリ女である

綴方入選
中央公論

社刊行の模範綴方全集に小名濱小學校から左の如く入選
吉田均、齊藤多三郎、本田鍋、鈴木美智子

●●●● 勿來校父兄會　勿來尋高校では十九日保護者懇談會を開き本年度行事協議、役員改選

平區だより

錦村大倉、昭和人絹職工遠藤正引（三五）は去月十八日植田町八幡神社境内で花見中泥醉同僚と喧嘩し仲裁に入つた永沼致義（三〇）の右腕に短刀で二週間の傷を負はせ罰金二十圓
○
双葉郡川内村下川内運轉手半澤定吉（三五）の業務上過失致死は同五十圓
○
川部村三澤伊藤炭礦採炭夫野澤豊（三二）は去月十九日平島生れ金鑛端を毆打同五十圓

野崎氏寄附

市會議長野崎滿藏氏は此程市内南町に建てた家屋の新築祝として金五十圓を市軍事後援會へ寄附

●●●● 博徒六名擧る　十八日晝小名濱町築港内で同町古港鈴木春松（三九）外六名が現金賭博開張中平署に一網打盡

●●●● 鼠賊　内郷村磐炭綴製作所旋盤工高橋茂（三三）は去月來同鑛から前後十數回に亘り工具類三十圓分を盜み平署に檢擧

平市慶弔錄

▲死亡　本籍杉平内郷村綴　野口幸子さん（一）

補充兵訓練

市在郷軍人第一分會では來る二十一日午後一時から第一校々庭に未入營補充兵再教育を行ふ、今後は毎日曜同時刻から繼續するが參會者は昭和六年度（今年點呼の四年度も含む）以降の徵集者、時局柄多數の參會を望まれてゐる

豆ニュース

●●●●● 伊藤助役上京　伊藤市助役は十六日の市會で決定した公益質屋敷地（市内大町磐城無盡裏）變更、其他これに伴ふ諸種の事務報告の爲め十八日上京

●●●●● 服部校長上京　服部平商校長は廿三日から二十六日迄東京市に開かれる全國商業學校長協議會に出席

●●●●● 村田書記榮轉　地裁平支部豫審書記村田三朗氏は今般若松に榮轉、十八日赴任後任は平區上遠野登書記、これに伴ひ平區屆小澤寛氏が任官

勿來生勞力奉仕

勿來尋高校では二十九日から町内出身兵遺家族に對する勞力奉仕作業開始

●●●● 植田經濟講演會　植田署統制經濟講演會日割左の如し
二十一日植田署、二十二日泉小學校、二十三日上遠野校、二十四日田人校

ツヽジ見納め
松ケ岡初夏情景

いみじき初夏の風情をたゝえて人々の目を樂しませた松ケ岡のツヽジもいまは僅かに淡紫の遲咲きを殘すのみ、辺は綠したゝる櫻の青葉に、夜は照明の高燭燈に殘んの美しさを慕ふ散策の人々で賑はつてゐるが大体明後二十一日の日曜邊りが見納めとならう、お花見以來人氣をそゝつた松ケ岡もツヽジを終りとして靜かにその幕は下される、照明は今月一杯の筈である

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
内郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

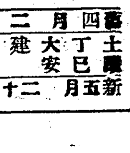
此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統制下にある吾等は國策に順應して御得意各位樣に精々御便宜を計るべく社員一同努力仕るべく候間倍舊の御引立を御願申上候
鐵棒、平鐵、しやふさ
鐵管、各種レール類
新品中古入荷仕り候間精々御注文相願度尚諸機械器具類各種取揃へ御來駕を御待申上候。
海軍工廠御用達
KS　合資會社　平銅鐵機械商會
平市鍛冶町九（電話五二二番）
電略（イ）又ハ（イ七）
振替東京一五七五二二番
倉庫　一平市鍛冶町卅三番地　一平市鍛冶町九番地

酒トマヅイ　おでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里　電話三三番

廣告

▲一白　そろ〳〵進め道々に人の助けも加はり來る▲二黑　油斷も隙もならぬ日殊に賣買は注意を要す▲三碧　苦慮するよりも識者に問ふが早くて且安全▲四綠　内に和合あれば運氣盛ひ順調に發展すべし▲五黄　心のみ急げども駒は進まず氣運來復を待て▲六白　陰氣に閉され些末の事まで心の苦となる日▲七赤　輕卒を戒しめ牛歩をとれば平坦の道に出づ▲八白　世話事は免れ得らるゝ丈け免るゝ方が安全▲九紫　幸運の日なる故何事も進で宜し飲食は注意

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部神誠館



新暦五月二十日　土曜　舊暦四月二日　丁巳　大安　建　柳宿

二十日〔小名濱測候所觀測〕
滿潮　前二、五〇　後五、〇五
干潮　前一〇、〇五　後一一、二五

平市田町
高久病院（電話五三一番）
内科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
（看護婦至急募集）

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
株式會社　關彰商店平支店
本店　茨城縣下館町　電話五五、三三九番
支店　茨城縣土浦町田宿　電話六五三番
茨城縣久慈町　電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前（電　大津一四七番
福島縣四倉驛前（電　平潟五四番
福島縣小名濱町　電話四八番
油槽所〔常磐線泉驛前
海岸給油所〔大津港、平潟港、江名港
ガソリン給油所〔土浦町新國道日本石油給油所　電話八三番四

おでん、やき鳥
小鳥燒も初めました。
お酒のあとにおけさめし
おでん　茶めし　酒の家
味鄉
平市三田小路（三丁目裏）

產婦人科
井坂醫院
平市田町　電五五九

祖父佐藤久三郎儀永々病氣の處療養相不叶五月十八日午後四時永眠仕り候條略儀ながら紙上を以て生前の御知遇を謝し併而謹告仕り候
追而葬送の儀は五月二十二日午後二時自宅に於て佛式に依り相營み可申候
昭和十四年五月十九日
石城郡神谷村大字鹽
喪主　佐藤精孝
男　佐藤正次
親戚　佐藤永春
佐藤三平
總代　佐藤長壽
友人總代　佐藤庄太郎